

令和6年度 滋賀県青少年育成県民大会

令和6年度滋賀県青少年育成県民大会を、去る11月9日（土）に守山商工会議所で開催し、県内から約200名の参加を得ました。

当日は、青少年の健全育成活動に尽力いただいた33名の皆さんと8つの団体の表彰や、「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」に関する作文・絵画・ポスターの入賞者20名（最優秀・優秀）の表彰を行いました。青少年活動の発表では、「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」に関する作文審査で最優秀賞に選ばれた児童3名の素晴らしい朗読発表と地元で活動するもりやま青年団による活動発表があり、会場は大きな拍手に包まれました。

講演では、「家庭から分離された子どもの育ちを考える」－社会的養護経験者への支援－と題して、大阪教育大学准教授の上田裕美氏にお話しいただきました。養護施設を出た後のサポートの大切さを中心に、養護経験者の声を交えたご講演で、参加者からも「初めて知ることが多く、大変勉強になりました。貴重な体験でした。」「養護を必要とする子どもたちが夢に向かうような対策等を考えたいと思った。」などの感想が寄せられました。

また、「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」に関する絵画・ポスターの入選作品20点、南部・甲賀青少年育成連絡協議会（守山市・草津市・栗東市・甲賀市・野洲市・湖南市の青少年育成市民会議）の活動紹介も展示しました。



開会あいさつ
児玉典子
県民会議会長



祝辞
村井 泰彦
滋賀県子ども若者部 部長



祝辞
森中 高史
守山市長



**作文・絵画・ポスター
表彰**



知事表彰

知事表彰



県民会議顕彰



「豊かな心をはぐくむ家庭づくり」作文 絵画・ポスター表彰



青少年活動発表
もりやま青年団



- ・組織づくりにおいて、とても参考になりました。事業に魅力がないといけない、企画運営する役員が楽しまないと継続していかない、役割分担して会長ワンマンにならない等、学区民会議でも活かしていきます。
- ・持続可能な取り組みを継続していくことが大切だと思いました。

講演

「家庭から分離された子どもの育ちを考える」
－社会的養護経験者への支援－
大阪教育大学 上田 裕美 准教授



- ・上田先生のお話は、ポイントがおさえられていて大変分かりやすかった。動画の出演者3人の話からもサポート要素は何か、よくまとめられていた。社会的養護について、見識を深めることができた。
- ・初めて知ることが多く、大変勉強になりました。貴重な体験でした。



**「豊かな心をはぐくむ
家庭づくり」
最優秀作文発表**

- ・日頃接することのない小学生の家族への思いやりや心境を垣間見ることができました。一方で、家庭の温かさを知らない青少年が社会でどう育んでいくのかを考えさせられました。
- ・小学生の子どもたちが、自分の思いを率直に伝える姿は素晴らしいです。



閉会あいさつ
熊川 勉
南部・甲賀青少年育成
連絡協議会 会長